

Cat No. 36533-79

取 扱 説 明 書

電気泳動用

Rapid CBB KANTO 3S (ラピッド CBB KANTO 3S)

1. はじめに

本製品は、タンパク質電気泳動(SDS-PAGE、2D-PAGE、Native-PAGE など)後のゲル上のタンパク質を簡便・迅速に検出するための、CBB G-250 色素をベースにした Ready to use タイプの CBB 染色液です。洗浄-染色-脱色の 3 ステップ、最短約1時間で、タンパク質の存在する部分が青色のバンドやスポットとして検出できます。

2. 製品内容

製品名	ラピッド CBB KANTO 3S (Rapid CBB KANTO 3S)
製品番号	36533-79
容量	1 L
外観	濃青色の液体
保管温度	室温(遮光)

3. 原理

本製品に含まれる CBB 色素は、泳動ゲル上のタンパク質と結合します。結果、タンパク質のバンドやスポットが青色に呈色します。

4. 適用範囲

ポリアクリルアミドゲル中のタンパク質
(SDS-PAGE、2D-PAGE、Native-PAGE に適用可能)

5. 使用方法

以下の液量は標準的なミニゲルサイズ(80×80×1 mm)の場合の例です。ご使用のゲルサイズや厚さに応じて調節して下さい。

長期保管すると沈殿が生じる場合がございますので、使用前にキャップをしっかりと閉めた状態で、10 回程度転倒混和してからご使用下さい。

- 1) ポリアクリルアミドゲルを用いた標準的な方法に従ってタンパク質の電気泳動を行う。
- 2) ゲルサイズより一回り大きな清浄な容器に、100 ml の精製水を用意し、電気泳動後のゲルを完全に浸し、5 分間振盪し洗浄した後、精製水を捨てる。
- 3) 再度新しい精製水を 100 ml 注ぎ、同様に 5 分間振盪して洗浄して精製水を捨てる。さらにもう一度この操作を繰り返す。
- 4) 別の容器に、10 回程度転倒混和した本製品を 25 ml～50 ml(ゲルが完全に浸り、十分振盪される量)用意し、上記の通り計 5 分×3 回の精製水による洗浄を行った

ゲルを完全に浸し、目的のバンドが染まるまで、30～60 分振盪し染色する。

- 5) 染色後のゲルを、100 ml の精製水に完全に浸し、初回は手早く振盪してゲル表面に残った染色液を洗い流しすぐに精製水を捨てる。再度精製水 100 ml を注ぎ振盪・脱色し、精製水が青みを帯びてきたら、精製水を交換して、バックグラウンドがきれいになるまで脱色する。
- 6) 染色された青色のバンドやスポットを観察する。

6. 特記事項

- 1) 本製品に浸漬してもバックグラウンドは染まりにくいので、染色後約 10 分で、タンパク質量の多いバンドが視認できるようになります。約 30 分で 15 ng/band 程度まで検出できます。
- 2) 脱色時間を 1 時間以上に延長することで、検出感度が上がる可能性があります。しかし、一昼夜脱色を行うと、微量のタンパク質バンドが薄くなり、見えにくくなる場合があります。本製品で染色したゲルはなるべく当日中に観察・撮影して下さい。
- 3) 本製品の再使用は色素濃度が薄まるため推奨しておりません。
- 4) 製品中のアルコール成分が揮発すると、沈殿が生じやすくなりますので、しっかりと密閉して直射日光や高温多湿を避け保管して下さい。
- 5) タンパク質の種類によっては反応性(検出感度)が異なる場合がございます。
- 6) ゲルや緩衝液の汚れ等と反応し、ゲル表面が染色され、本来の検出すべきタンパク質が検出しにくくなる場合がありますので、電気泳動に使用するゲルや緩衝液、洗浄に用いる精製水等は新しい物を使用して下さい。また、取扱の際にはディスプレイ手袋等を使用し直接触れないようご注意下さい。

7. 使用上の注意事項

- 1) 本製品が眼や皮膚に触れないよう、保護メガネ、手袋、白衣等の保護具を着用してご使用下さい。
- 2) 本製品が皮膚についた場合や、誤って眼や口に入った場合は、大量の水で洗浄し、必要であれば医師の処置を受けて下さい。
- 3) 本製品の取扱い・廃棄に関する詳細は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
- 4) 本製品は試験研究用です。研究目的以外の用途には使用しないで下さい。
- 5) 本製品はアルコールを含みます。火気には十分ご注意下さい。